

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



平成19年4月25日発行
通巻101号

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】
●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／分部分室／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス萩野 ●四日市市●四日市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●亀山市●亀山市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター／松阪まちづくりセンター『まちの駅松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／伊勢市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリソート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウリアム・テルズアップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町 ●南伊勢町町民文化会館
【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会
【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカルー光各調剤薬局
【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／齋宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

NPO(ボランティア団体・市民活動団体等)からの協働事業等提案を募集します!

県では、NPOがその活動から見てきた課題を、県と企画段階から対等な立場で話し合い、協働して解決しようとする「事業提案」の募集を行います。

また、NPOがその活動の中で感じている問題を、県との共通の課題としてお互いに認識・共有するために研究会を設置し、研究成果の実現を目指そうとする「研究提案」を募集します。

この募集の説明会を5月15日(火)に行います。説明会では、平成18年度に採択された事業について提案したNPOが事例発表を行います。その後、平成19年度の募集要項の説明を行います。提案を予定している団体の方だけでなく、協働事業について興味をお持ちの方もぜひお気軽に参加してください。(事前申込不要)詳細は、下記へお問い合わせいただくか、NPO室のホームページをご覧ください。

【事業提案(事業の構築・推進を目指した事業提案)の募集について】

- (1) 三重県との「協働事業」であること。
- (2) 「事業提案」とは、NPOの企画・提案により、NPOと県とが協働で取り組む事業のこと。事業期間が複数年にまたがる提案も可能ですが、事業構築に要する検討期間は平成19年度内を基本とします。
- (3) 事業提案のテーマ／1. 自由テーマ 2. 県で設定するテーマ
- (4) 締切／5月31日(木) 17:00(必着)
- (5) 公開プレゼンテーション・審査会／6月15日(金)

【研究提案(課題の共有を目指した研究提案)の募集について】

- (1) 三重県との「研究」であること。
- (2) 「研究提案」とは、NPOと県が課題を共有することを目指して研究する研究計画の提案です。研究期間は平成19年度内を基本とします。
- (3) 事業提案のテーマ／1. 自由テーマ
- (4) 締切／6月29日(金) 17:00(必着)
- (5) 公開プレゼンテーション・審査会／7月17日(火)

●説明会・昨年度事業の事例発表／5月15日(火) アスト津3階 みえ県民交流センター

●提出方法／「協働事業提案書」または「協働研究提案書」に関係書類を添えて、下記へ直接または郵送、Fax、E-mailで提出してください。(提案書様式は、アスト津3階NPO室他、各県民センターにあります。なお、NPO室のホームページからもダウンロードが可能です)

●応募資格／(1) 三重県内で、民間・非営利の活動を行っている団体等であること。(法人格の有無は問いません。)

(2) 活動分野は限定しませんが、宗教活動や政治活動を主たる活動目的とした活動ではないこと。また、特定の公職者(候補者を含む)または政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体ではないこと。

●提案の審査／NPOから提出された提案書と公開で行うプレゼンテーションにより、審査会で審査を行います。

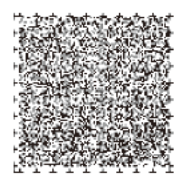
●選定／審査会での審査を受けて、県が選定します。

●問い合わせ先・提案書提出先／514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階 三重県生活部NPO室

Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



このニュースが皆さんに届く頃、能登半島地震の被災地での暮らしが少しでも落ち着いていることを願いつつ、原稿を書いています。

主な被災地が石川県という近県だったこともあってか、現地で復興支援のために活躍するボランティアの方々の姿がたびたびニュースや新聞などで取り上げられていました。こうした情報を見聞きして、現地までは行くことはできないけれども、でも何かしたい!と思っている方々も多いのではないのでしょうか。

被災地の復興支援のかたちは様々ですから、離れていてもできることももちろんあります。そのひとつとして、まず思い浮かぶのは義援金かもしれませんね。他には、日本有数の観光地でもある能登で、安全確保できているにも関わらず、噂や思い込みなどによる旅行客のキャンセルが相次ぎ、経済的なダメージを受けている現状があります。こうした経済面、産業面を支援するために、例えば、買い物の際に石川県や能登地方の生産物、特産物を選んでみることもひとつの支援となるでしょう。もちろん、実際に観光に出かけるのもいいですね。

このような石川県の特徴を活かした支援のかたちを「みえ災害ボランティア支援センター」(三重県社会福祉協議会もセンター協定メンバーの一員です。)のHP内『被災地発!復興応援サイト』(<http://www.v-bosaimie.jp/mvic/O7noto/campaign/campaign.html>)でもご覧いただくことができます。

何かしたい!と思った気持ちを、自分にあった、自分にできる方法で実現できるといいですね。

ちなみに私はやっぱり能登の地酒コースでしょうか…。

みなさんへのお知らせ

携帯電話のメールによる情報配信開始!

「市民活動・ボランティアニュース」発行のお知らせなどを、携帯電話のメールで配信します。下記のアドレスに携帯電話から空メールを送信してください。ドメイン指定受信をご利用の方は【pasoya.jp】ドメインを指定受信に設定してからご登録ください。登録に必要なのは名前とメールアドレスのみ。名前も本名でなく、ニックネーム(ハンドルネーム)でOKです。

●E-mail/npo@pasoya.jp

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は4団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民センターに備え置いております。

●認証申請団体

- (1) 名称(2) 代表者氏名(3) 法人事務所の所在地
【1】(1) 松阪障害者労働センター・ポケットハウス(2) 宮本正人(3) 松阪市東町157番地3
【2】(1) 呼夢・フレンズ(2) 堀川まり子(3) 四日市市大井手二丁目3番17号
【3】(1) 天満浦百人会(2) 北村恵史(3) 尾鷲市大字天満浦1番地の6
【4】(1) 研鑽ライフセンター(2) 白川 弘(3) 鈴鹿市算所町1244番地(平成19年3月10日～平成19年4月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 名張市手をつなぐ育成会(平成19年3月26日)
三重県防犯設備協会(平成19年4月2日)
(平成19年3月10日～平成19年4月9日)

イベントスケジュール



クリーン&グリーン みんなで掃除しよう!

- とき/4月28日(日) 13:30~14:30(雨天中止)
●ところ/お城公園噴水周辺集合

●内容/クリーン&グリーンは障がい者と健常者が一緒になって津市内の公園などを掃除するボランティア団体です。「公園をきれいにしたい」という気持ちのある方。ぜひ、ご参加ください。

- 持ち物/軍手や掃除道具はお貸しします。
●問い合わせ先/(津地区ボランティア連絡会加盟ボランティアサークル)クリーン&グリーン(代表:中川) Tel.090-6242-6870 E-mail 204336@m.mie-u.ac.jp

カウンセリング実践講座

- とき/5月12日(土)開講
(以後、月1回第2土曜に開催。全11回)9:30~12:30
●ところ/みえ親子人間関係研究会(JR阿漕駅前アコギビル2階)
●参加費/34000円 ●募集人数/15人
●内容/教育、福祉の現場や家庭で役立つコミュニケーション力を主にしたカウンセリング的対応の体験学習。講師は河合卓子他。
●応募締切/5月7日(月)
●問い合わせ先/津市大倉13-19アコギビル2階 NPO法人みえ親子・人間関係研究会 Tel.&Fax.059-246-5562

乳がん体験者の会あけぼの会 第23回母の日キャンペーン 「乳がん死ゼロをめざして」

- とき・ところ/5月13日(日)11:45伊勢市 内宮宇治橋前集合
12:00おはらい町にて、キャンペーン開始
●内容/全国一斉に自己検診とマンモグラフィー検診の大切さを呼びかけます。乳がんに関心のある方、医療関係者の方の参加、お待ちしております。
●問い合わせ先/あけぼの会三重支部(担当:小野節子)
Tel.0596-25-3426

春の花まつり

- とき/5月13日(日)10:00~15:00
●ところ/県営サンアリーナ花の広場(伊勢市朝熊町)
●内容/朝熊山麓に花を咲かす会は、定年を迎え、第二の人生をスタートさせた者が集まり、昔のように賑わいのある伊勢を取り戻すために、県営サンアリーナの花の広場を手入れし、市民や観光客の憩える場所にしようと活動しています。今回のまつりでは屋外ライブ(童謡、太鼓、吹奏楽、踊り、ウクレレとフラダンス、よさこい踊り)、野点、バザー、記念植樹などを行うほか、おにぎり、お茶、豚汁、伊勢うどんのブースや子どもさんへ写真のプレゼントもあります。
●主催・問い合わせ先/朝熊山麓に花を咲かす会(代表:宮川流域案内人:岩崎 理) Tel.0596-29-4311

2007年度春!MIEF-IATSSフォーラム文化交流会 世界の遊びを楽しもう!

- とき/5月13日(日)13:30~17:00
●ところ/鈴鹿市文化会館さつきプラザ(鈴鹿市飯野寺家町810) ●参加費/無料
●内容/(財)国際交通安全学会(IATSSフォーラム)が招請して

いるアセアン9ヶ国の研修生と、(財)三重県国際交流財団(MIEF)で勤務している国際交流員が、各国の文化、習慣、マナー、歌やダンスなどを紹介します。参加国はオーストラリア、ブラジル、中国、カンボジア、インドネシア、ケニア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム。チャリティーオークションやラッキードロー(お楽しみくじ)などもあります。

●主催・問い合わせ先/津市羽所町700番地アスト津3階(財)三重県国際交流財団 Tel.059-223-5006

Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp

鈴鹿市稲生町7992 (財)国際交通安全学会 IATSSフォーラム Tel.059-370-0511 Fax.059-370-0505

E-mail mail@iatssforum.jp

議さんです。当日は手話通訳・要約筆記がつかます。会場の近辺には無料駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

●問い合わせ先/三重県政策部企画室

Tel.059-224-2062 Fax.059-224-2075

E-mail kikakuk@pref.mie.jp

三重県職員研修センター Tel.059-224-2789

Fax.059-224-2594 E-mail kenshu@pref.mie.jp

●主催/三重県

国際助産師の日第15回三重県大会

●とき/5月13日(日)開場12:00~16:00

●ところ/三重県総合文化センター第2ギャラリー

●参加費/無料

●内容/どなたでも参加できます。お子さま連れもOK。体験コーナーは、妊婦体験、沐浴、赤ちゃんの身体測定、赤ちゃん抱っこ。妊婦相談や育児相談、助産師の活動報告やパネル展示、ハーブティーの試飲などもあります。また、パネルディスカッション「助産師とともに考える 私にとっての“贅沢な”お産」(13:00~14:30)も開催。助産師同士の交流会(15:00~16:00)もあります。

●主催/三重県看護協会 ●共催/日本助産師会三重県支部

春のドイツ料理教室

●とき/5月20日(日)13:30~15:30

●ところ/アスト津5階「食工房」

(津市羽所町700番地 Tel.059-222-2525)

●参加費/材料費と会場使用料の実費

●内容/三重日独協会会員の千島里美さん(ドイツ在住6年の経験をお持ちの方)を講師に迎えて、ドイツ料理を学びます。献立はスズキのフィレ、ベアルネーズソース添え、にんじんとズッキーニのタグリアテーレ、新ジャガイモ、いちごのタルトです。

●持ち物/エプロン、台布巾、皿布巾

●応募締切/5月16日(水)

●主催・問い合わせ先/三重日独協会(担当:向井明子)

Tel.059-232-0594 E-mail mukai@ztv.ne.jp

文化シンポジウム

「今こそ文化力の時だ—地域文化のちから」

●とき/5月27日(日)受付12:30~ 13:00~16:00

●ところ/アストホール(津市羽所町700番地アスト津4階)

●参加費/入場無料

●内容/基調講演「感性を欠いた経済大国」東京大学大学院経済学教授・神野直彦さん。パネルディスカッションのパネリストは、神野直彦さん、海の博物館館長・石原義剛さん、三重県知事・野呂昭彦さん。コーディネーターは四日市大学総合政策学部教授の竹下

三重県内男女共同参画センター3館連携映画祭2007



映画でみつけよう!~男女が共に生きるヒント~

●参加費/【津市】1000円 【鈴鹿市】【四日市市】500円 3作品通し券1500円(各会場で直接購入か、電話予約。3作品通し券は6月2日(土)販売締切)

【津市】映画「三年身籠る」&シネマトーク

●とき/6月2日(土)13:00開場 13:30~16:30

●ところ/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール(津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター内)

●内容/十月十日を過ぎても産気づく兆しが訪れず、妊娠27ヶ月を迎える妻と、お腹の子は宇宙人の子なのではないかと疑う夫。リアルでありながらシュールに展開する予測不能ムービー、「三年身籠る」。シネマトークでは映画・演劇評論家であり、女性映画に詳しい小藤田千栄子さんに今回の上映作品3作を例にあげ、「映画で見る男女の生き方」をお話いただきます。

●問い合わせ先/フレンテみえ Tel.059-233-1130

【鈴鹿市】映画「クジラの島の少女」

●とき/6月16日(土)13:00開場 13:30~15:20

●ところ/鈴鹿市ふれあいセンターふれあいホール

(鈴鹿市南玉垣町6600 Tel.059-386-3704)

●内容/「祖先はクジラにのってやってきた」という神秘的な勇者伝説を信じるマオリの一家に生まれた少女、パイケア。祖父はパイケアを大切に育てながらも、「これが男の子だったら…」と彼女の存在を素直に受け入れられない…。

●問い合わせ先/ジェフリーすずか Tel.059-381-3113

【四日市市】映画「わらびのこう」

●とき/6月30日(土)13:00開場 13:30~15:40

●ところ/四日市地域総合会館あさけプラザホール

(四日市市下之宮町296-1 Tel.059-363-0123)

●内容/六十歳を迎えた者は村を出て人里離れた原野、蕨野に移り住む約定があった村。村に住み、姑を想う若嫁と、蕨野で暮らす老人たちの姿に生と死の本質、命の原風景が描き出される。

●問い合わせ先/はもりあ四日市 Tel.059-354-8331

●託児申込締切/託児無料(0歳~未就学児先着10人程度)

【津市】5月26日(土)、【鈴鹿市】6月9日(土)、【四日市市】6月23日(土)

シンポジウム「不登校・ひきこもりを話し合う」

●とき/6月2日(土)13:30~17:00

●ところ/みえ市民活動ボランティアセンターミーティングルーム



これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

災害への備えは万全ですか?

4月15日に三重県内を震源とする強い地震があり、最大で震度5強の揺れが観測されました。この地震では日頃の災害への備えがいかに重要かを思い知らされました。

実際に地震が起こって分かったことは、建物の被害以外にも電車はストップし、携帯電話がつかない。テレビやラジオの情報が頼りで、「ガスが止まった」「エレベーターに閉じ込められた」などのさまざまな被害が本当に生じるということでした。

これまで亥年には、関東大震災、阪神淡路大震災や伊勢湾台風など歴史に残る大災害が発生しています。できれば今年は県とボランティア団体などが取り組んでいる「みえ災害ボランティア支援センター」の活躍の場がないことを願わずにいられません。

(アスト津3階)

●内容／当事者＝子どもの気持ちや苦しみ、親の気持ちや苦しみ、学校の様子・社会の様子など。父母や当事者の経験、情報も出し合い、何かヒントを得られるかもしれない、何らの助言が得られるかもしれないという期待を込めて、参加者ともども話し合いたいと思います。語り手は浜口 拓(伊勢志摩不登校ひきこもりを考える会、塾)、加藤みはる(元養護教諭)、保井秀孝(鈴鹿考える会、津親の会、僧侶)、木村茂司(三重県・考える会世話人)です。

●問い合わせ先／三重県登校拒否・不登校・ひきこもりを考える会
Tel.&Fax.059-256-0557

E-mail vep01316@nifty.com

川づくり会議みえ「第5回総会&記念講演会」

●とき／6月10日(日)受付13:30～

●ところ／みえ市民活動ボランティアセンター「イベント情報コーナー」(津市羽所町700番地 アスト津3階)

●参加費／【記念講演会】100円(資料代)

【懇親会】3000円程予定

●内容／総会、記念講演会、懇親会とも一般の方の参加可能です。総会は14:00～14:30。元国土交通省河川局防災課長、宮本博司さんによる記念講演『防災で減災できますか?』は14:50～16:30。17:00からは懇親会になります。

●問い合わせ先／川づくり会議みえ(事務局:久世) Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

ネットワークのよびかけ

ユニバーサルな避難所マップが完成

【津市久居地区】

大きさはA2版で、15000部作成しました。カラー印刷で、久居地区16箇所の避難所の地図をそれぞれの写真と共に掲載しています。裏面は、施設の所在地や電話番号の他、入り口のスロープの有無やトイレが



バリアフリーか否か、ドアの形状や男女別の数等、また避難経路についてもバリアや危険性について詳しく記載しました。また、避難所に自家発電設備がある場合はそれも記載しました。作成にあたっては津市久居地区民生委員有志、津市久居地区ボランティア連絡会、津市久居支所、三重県社会福祉協議会総務企画部のご協力を得ました。作成費用は、独立行政法人福祉医療機構基金事業部のご支援をいただきました。

●問い合わせ先／ユニバーサルデザイン久居(代表:高尾)
Tel.059-255-6127

第62回神宮式年遷宮 一日神領民バリアフリーお木曳き 介助サポートボランティア募集

バリアフリーお木曳きは高齢者や障害者など、身体の自由はきかなくてもお木曳きを奉曳したいという方々の強い願望を受け、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが企画しました。お木曳きの長い歴史上初めての試みです。詳細はお問い合わせください。

●とき／5月6日(日)集合8:30～9:00 出発9:00～9:30(雨天決行)奉曳・参拝約2時間

●ところ／受付場所 伊勢市宮町公園

●ボランティア条件／参加者の安心と安全を考え、障害者、高齢者の介助サポート、奉曳のお手伝いをしていただける方。ボランティアの法被代1000円+保険代(300円程度)をお支払いいただける

方(すでに法被をお持ちの方、ボランティア保険ご加入済みの方は必要ありません)指定の説明会に参加していただける方。

●サポートの内容／障害者・高齢者が安全に奉曳できるように介助サポートを行う(車イスの介助、視覚障害者のガイドや状況説明、聴覚障害者への情報伝達、見守りなど)。障害者・高齢者の奉曳力となる。外宮参拝時の参道、参拝介助。

●説明会／4月27日(金) ※最終説明会です。必ずご参加ください。参加が難しい場合は下記までご相談ください。

●衣装／購入していただく白色の法被と祭り衣装、または、白色シャツと白ズボン、白靴(足袋)。

●問い合わせ先／NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
Tel.0599-21-0550 Fax.0599-21-0585

E-mail iseshima@barifuri.com

ホームページ <http://www.barifuri.com>

開局時間(9:00～17:30 木曜定休)

被災地支援のためのチャリティバザーの物品募集

みえ市民活動ボランティアセンターでは、国内外で起こる大災害の被災地支援、復興のための募金活動やチャリティバザーを行っています。3月25日に発生した能登半島地震、それに続く4月2日のソロモン諸島の地震・津波について、チャリティバザーの物品を募集しています。バザーの収益は折半し、能登半島地震については、能登半島地震救援学生ネットワーク(神戸市 被災地NGO協働センター内 ホームページ<http://www.pure.ne.jp/ngo/>)に、ソロモン諸島地震・津波に関しては、ソロモン諸島復興支援会(相模原市 特定非営利活動法人APSD内 ホームページ<http://www.apsd.or.jp/index.html>)に、それぞれ活動支援金として寄付させていただきます。バザー実施後の残余物品は次回災害時に行うバザーに提供させていただきます。

●応募締切／5月15日(日) ※バザーは5月下旬に開催予定

●募集品目／未使用の衣類(Tシャツなど)、日用品全般、また不要となった書籍などです。飲食物(生もの)や古着はご遠慮ください。

●問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971

ホームページ center@mienpo.net

災害時高齢者生活支援講習

災害時において、高齢の被災者にとってその影響は深刻で、避難の際や、避難所生活等において幅広い支援が求められています。この講習では、被災した高齢者の避難所生活での不安を軽減し、不自由な生活から高齢者自身をはじめ、家族、地域の方々、また、災害時にボランティア活動をするとき役立つ知識や支援技術を紹介します。男女、年齢は問いません。どなたも受講できますので、気軽に声をかけてください。

●講習内容／1、災害について 2、災害が高齢者に及ぼす影響 3、接するときのこころづかい 4、気をつけたい病気や症状 5、知って役立つ技術／(1)トランスファー(移動) (2)清潔 (3)リラクゼーション (4)レクリエーション 6、ボランティアの心得

●受講方法／以下の二つ。

・日赤三重県支部が主催し、受講者を募集する講習会に参加する。
・20人以上の団体・グループが主催し、日赤三重県支部が指導員を派遣する。

●講習時間／2時間 ●受講料／無料

●持ち物／筆記用具、動きやすい服装

●問い合わせ先／日本赤十字社三重県支部 事業推進課

Tel.059-227-4145、0570-009595

Fax.059-227-6245



夏休みを利用したボランティア体験の 受入団体募集

みえ市民活動ボランティアセンターでは、未来を担う若い方々に社会的な活動への理解を深めていただくため、高校生・大学生を対象に、ボランティアや市民活動の現場を体験する「Volunteer Summer 2007」を開催します。そこで、趣旨に賛同し、学生のボランティア希望者を受け入れてくださるボランティア・市民活動団体、NPOを募集いたします。ぜひ、若者の様々なチャレンジ、意欲を温かな目で応援してあげてください。

- 募集締切／5月15日(日)
- Volunteer Summer実施期間／7月中旬～9月中旬
※学生受け入れは上記期間中で、団体の受け入れ可能な日程で構いません。応募者の希望と後日調整します。
- 学生受入人数／受け入れ可能な人数をお知らせください。
- ボランティアの内容／概略をお知らせください。
- 問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net



外国からきた小中学生・高校生の 勉強や日本語をサポートしませんか？

「ジョイア」はアジアや南米から来た子どもたちの学習をサポートするボランティアグループです。幼少期に外国(日本)に来て、言葉が十分にわからないなかで、学校の勉強についていくのはとても大変なことです。少しでも彼らの力になるため、学生・教員・市民と一緒に、小中学生・高校生を対象に週1回勉強を教えています。日本語が十分でない子どもには勉強とともに日本語をサポートします。また、学習だけでなく、子どもたちや家族との交流、スタッフ同士の交流、学校訪問なども企画していきたいと考えています。活動に興味を持った方はぜひ、参加してください。職業、年齢は問いません。日本語で教えますし、教科も1科目以上教えられれば大丈夫です。なお、この活動は津市教育委員会や津市国際交流協会スタッフとの連携のもとに進められています。

- とき・ところ／(1)土曜日10:00～12:00 アスト津3階フロア
(2)土曜日18:30～20:30 高茶屋市民センター
- 問い合わせ先／三重大学人文学部 藤本研究室
Tel.&Fax.059-231-9123、090-8135-9365
E-mail fu0331@human.mie-u.ac.jp
三重大学人文学部 江成研究室 Tel.059-231-9136
E-mail m-enari@human.mie-u.ac.jp

- 社員・お客様などが参加しやすい活動。
- B.2007年度新設[お題企画]コース
- Bコースの詳細については下記の問合せ先まで確認ください。
- 対象事業の期間／原則は平成20年3月までに完了。複数年にわたる場合は平成20年3月時点の目標が明確であること。
- 助成の額／1テーマ20万円。10団体を予定(各県1団体は助成します)
- 応募方法／申請書・応募用紙をホームページからダウンロードし、E-mailまたは郵送で提出。
- 問い合わせ先／環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)エコひいき2007運営事務局(担当:新海・鶴飼) 郵便番号 住所460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎4階 Tel.052-973-1033 Fax.052-973-1032 E-mail office@epo-chubu.jp
ホームページ <http://www.epo-chubu.jp>

花王・コミュニティミュージアム・プログラム

- 受付期間／5月17日(木)～31日(木)消印有効
- 助成の対象となる団体／日本国内を対象にミュージアムを拠点として活動する非営利団体。設立や運営に企業が主体的に関わっていたり、活動内容が政治・宗教などに偏っている活動は除く。
- 助成の対象となる活動／対象分野は生活、環境、文化、芸術など広く含む。
- 市民活動団体が中心になり、ミュージアムの協力を得ながら行う活動。
- 市民や市民的専門家が、ミュージアムの関係者と団体を組織して行う活動。
- ミュージアムが、市民や市民的専門家あるいは市民活動団体に呼びかけて行う活動。
- 市民活動として運営されているミュージアム自体の活動。
- ※このプログラムにおける「ミュージアム」とは、広い概念で捉えており、人文系・自然系の博物館、美術館、動植物園、水族館、記念館、その他これらに準ずる何らかの価値の共有と公開を目的にした場、およびそれらのネットワークをさす。
- 対象事業の期間／平成19年10月1日～平成20年9月30日
- 助成の額／1件あたり上限50万円。総額1000万円。
- 応募方法／応募要項などはホームページからダウンロードするか、下記に連絡を。
- 問い合わせ先／特定非営利活動法人市民社会創造ファンド「花王・コミュニティミュージアム・プログラム2007」事務局(担当:神山)
100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル267-B
Tel.03-3510-1221 Fax.03-3510-1222
ホームページ www.civilfund.org/fund25.html

(財)大同生命厚生事業団

- 受付締切／5月31日(木)必着
- 助成の対象となる活動／
1、高齢者福祉に関する活動。2、障害者福祉に関する活動。3、子ども(高校生まで)の健全な心を養うための交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの。
いずれも目的、計画などが明確な日本国内での無償の活動とします。
- 【サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成】
- 助成の対象となる団体・個人／社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループ。ただし、過去5年以内に本助成を受けた人(グループ)は除く。
- 助成の額／総額400万円以内。1件20万円以内、20件以内。
- 【シニアボランティア活動助成】
- 助成の対象となる団体・個人／社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとする年齢60歳以上の個人もしくはそのグループ。ただし、過去5年以内に地域保健福祉研究助成もしくはサラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成を受けた人(グループ)は除く。
- 助成の額／総額200万円以内。1件20万円以内、10件以内。
- 応募方法／申込書はホームページからダウンロードするか、下記まで請求。
- 問い合わせ先／(財)大同生命厚生事業団事務局
550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-2-1
Tel.06-6447-7101 Fax.06-6447-7102
E-mail info@daido-life-welfare.or.jp (E-mailでの申込書提出は不可)
ホームページ <http://www.daido-life-welfare.or.jp>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

助成金 ニュース

地域環境活動協働促進プログラム

『グリーンプロモーション エコひいき2007』

—地域も、会社も元気にする!—

- 受付締切／4月30日(祝・月)消印有効
- 助成の対象となる団体／愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井、静岡(静岡リコーの販売エリア外の東部・伊豆地区は対象外)で活動する団体で、以下の条件を満たすもの。
- ・エコひいきのココロ(HP添付データ「エコひいきがわかる!」参照)に共感いただける市民活動団体。
- ・社員・家族・お客様などが参加できる活動であり、受け入れができる市民活動団体。
- ・年間事業費が500万円以下の市民活動団体(法人格の有無は問いません)。
- 助成の対象となる活動／A.地域の環境活動協働コース
- ・地域の環境啓発・保全・改善に具体的に関わる活動。

つながれ!……NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

今月特集

多文化共生教育センター 6月1日オープン!

6月1日、アスト津3階の県民交流センター内に「多文化共生教育センター」がオープンします。

主に、子どもたちへの教育に関わる資料（外国からの子どもたちへの日本語指導や学習に関するもの、日本の子どもたちも含めた全ての子どもたちへの多文化共生教育に関する書籍、資料、情報や三重県内外の学校、教育委員会などが作成している指導実践資料や教材など）を収集し、情報提供を行います。

- ◆ 場 所 アスト津3階 みえ県民交流センター内
- ◆ 利用日 月～金（祝日、年末年始除く）
- ◆ 利用時間 9:00～17:00

センターでは、教職員や外国からの子どもたちの教育支援を行っているみなさん、また子どもたち自身にも活用してもらえよう、資料や情報の収集を随時

行っていきます。

**集めて
います!**

自作の教材や実践例などをお持ちの方は、ぜひご提供ください。



たくさんの書籍や資料、相談コーナーがあります。

お問い合わせ先：財団法人三重県国際交流財団

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階
電話 059-223-5006 FAX 059-223-5007
E-mail mief@mief.or.jp URL <http://www.mief.or.jp/>

中間支援組織担当者ネットワーク交流会 協働勉強会

4月12日に開催された中間支援組織担当者ネットワーク交流会 協働勉強会は、伊賀、尾鷲等県民センター担当者も参加し、9団体19名で開催されました。

今回は、年度始めということで、人事異動で新たに着任した担当者の顔合わせとなりました。昨年度1年間、大阪ボランティア協会に出向していたNPO室の古川さんから報告が行われ、その後、平成19年度に各地域で予定している地域づくりの取り組み、市民と行政との連携の方向性などの情報交換をしました。

お気軽にご参加ください。

◇交流会

日時：5月15日（火）午前10時～12時

◇協働勉強会

日時：6月13日（水）午後1時30分～4時30分

※どちらも場所は、みえ県民交流センター 交流スペース

↑
ハナのある
伊賀市のご担当



地域情報「伊勢版 PANDAファンド」スタート報告

昨年度、地域資金モデル事業として試行を始めた「伊勢版PANDAファンド」。6団体が寄付を受けました。平成19年度は、企業26社（4月現在）の協力を得て、スタートしています。

すでに19年度の活動に対する寄付金も少しずつ集まってきています。

PANDAとは?

“Public And Nonprofit center for Democratic Advocates”の略称で、「社会変革のための公益資源づくり」を意味します。



いせ市民活動センターでは、この「伊勢版PANDAファンド」を活用して、今後、地域の寄付文化を育てていきたいと考えています。

市民活動を支援するための寄付を受け付けています。ので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：W. T. Aまちづくりセンター

〒518-0867 三重県伊賀市上野福居町3317番地
電話 0595-24-7612 FAX 0595-22-0072
E-mail nagi_47_4_3@yahoo.co.jp
URL http://www.geocities.jp/william_tells_apple/

お問い合わせ先：いせ市民活動センター

〒516-0038 三重県伊勢市岩淵1丁目2番29号
電話 0596-20-4385 FAX 0596-20-4386
E-mail skc@e-ise.net URL <http://skc.e-ise.net>

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。趣味をいかして県内各所で落語を披露している石崎 豊さんからバトンが渡ったのは、視覚ハンディを持ちながら、ハーモニカの演奏をボランティアで行っている伊藤静生さん。記念すべき、100人目のインタビューです。

視覚のハンディを癒してくれたハーモニカ

……ハーモニカを吹き始めたきっかけは？
 小学4年生です。担任の先生が研修会で出張した時、自習時間に教頭先生がハーモニカで「汽車ぼっぼ」を吹いてくれました。それが本当に汽車が走っているような吹き方で、ハーモニカっていろいろな音が出せるのだなと思い、教頭先生の口元をじっと見ていたら、口元が凄く動いて…。「そうやって吹くのか」と思い、親父にねだって、ハーモニカを買ってもらいました。それから、やみつきです。
 ……毎日、練習していたのですか？
 遊び半分で(笑)。小学6年生の時は朝礼で演奏しましたし、中学校の文化祭。就職してからは忘年会や演芸会などで演奏しました。
 ……年季が入ってますね。
 10歳で始めて、今66歳ですから、56年ですか。その割には上手になってない。あかんなあ(笑)。
 ……目でご不自由になったのは何歳頃ですか？
 今から思うと自覚症状があったのは小学5年生です。僕の出身地では10月の十五夜の晩に子どもたちが、木になっているカキやみかんをもらってきてもいいという風習がありました。月夜の晩に友だちと出かけて、帰ってきてから取ってきた物を出してみると、僕は小さい黄色いミカンばかりポケットに入れているのですが、他の子は青い大きなミカンを持っていました。夜盲症です。月明かりでは、僕の目には青いみかんが見えないわけです。その後も中学校の部活の帰り、みんなは自転車を無点灯で帰って行くのに、僕はライトを点けないと走れなかったり…。じわじわと悪くなってきました。
 ……会社はいつ退職されたのですか？
 42歳ぐらいの時に職場にコンピューターが導入されて、書類などの字が細かくなり、読むのが大変になりました。それで部署を替えてもらいました。当時の会社は今と違って、ゆったりしていましたから「会社から肩たたきなどはしないから、自分で『もう、ダメだ』と思った時は言ってくれ。それまではここに座っているだけで構わないから、会社にいなさい」と言ってくれました。退職したのは46歳の時。通勤途中に駅のホームで人にぶつかり、線路に落ちました。枕木で頭を打って、かなり出血しまして、こんなことをしていたら、命取りになると思いました。この翌日から白杖も持つようになりました。でも、お金はいらないけれど、仕事はしたかった。それで一日中、家の中にいるので何かしようと思い、ご飯を炊こうとすると水加減が上手くいかない。洗濯しようとするとう娘に「お父さん、触らないで」と言われる(笑)。何もすることがないので、まだ、どう



ひぐらしハーモニカ教室

伊藤静生 さんに

聞く

にか目も見えましたから、隣近所の庭木の手入れや鉢の植え替えをしていました。あとはやっぱりハーモニカ。遊び相手がハーモニカしかありませんから、ハーモニカのプロのテープやCDを買って、それを聞き、本格的にやり始めました。

……本格的に始めて、それまでの演奏方法と差を感じましたか？
 自己流とプロの音はこんなに違うのかと思いました。プロの演奏を聴き、分析して、ハーモニカの吹き方を30種類ぐらい拾いました。
 ……吹き方とは？

息の吹き込み方。唇の形や幅。浅くくわえる、深くくわえる。後は舌の使い方です。演奏によってはハーモニカを何本も使っているように聞こえますが、1本のハーモニカだけで、それだけの作業をしているわけです。それらのテクニックを拾って、整理しました。

……耳だけで拾ったのですか？

自分で言うのは変ですが、音感が良かったのでしょうかね。曲を覚えるにしても、例えばオーケストラの曲を聴いて、その音に一番近いハーモニカの音を拾います。一音、一音拾って覚えますから手間はかかりますが、一度覚えてしまえばいつでも演奏できます。楽譜を見て覚える人は丸暗記する手間が必要でしょう？それに年を取るとなかなか覚えられないと聞きます。それが僕にはない(笑)。

……演奏しないでいると忘れてしまったりはしませんか？

自転車と同じで覚えてしまうと、できます(笑)。楽譜ではなく、音とつきあいをしているわけですから。例えば昔に歌った「春の小川」を忘れるかと言えば、そうではないでしょうか？音楽ってそういうものです。

……テクニックがわかるのと、自分ができるのは別でしょう？

そこは10歳からの経験がモノを言います。ちょっと練習すると、できるようになりました。

……プロとして演奏できるようになるまで、何年かかりましたか？
 本格的にやり始めてから5年かかりました。

……一口に5年と言いますが、よく熱意が持ちましたね。

ヒマやもん(笑)。毎日、長い時で3時間、短くて30分は練習しました。でも練習するのはテクニックばかり。曲は知っている物だけです。でも「春の小川」一曲でも、いろいろな吹き方がありますから。でも、本格的に自分が上手になってきたのは、生徒さんを教えるようになってからです。生徒さんには逆に教えられることが多いです。

個人のレベルに応じてハーモニカを教える

……教室を開いたのはいつですか？

最初、ご近所の人たちに教え始めたのが平成7年です。週1回木曜日に「木曜ハーモニカクラブ」として活動していました。それが平成9年2月から「ひぐらしハーモニカ教室」となり、会場も津市のふれあい会館と、鈴鹿市の白子公民館の2ヶ所で行うことになりました。津市の方が第1火曜と第3日曜の11時から4時。白子の方が第1、3木曜の1時から4時です。

……生徒は何人？

津が13人で、白子が14人です。

……指導はどうやって行うのですか？

全員レベルが違いますから、合奏などで教えるのではなく、個人指導です。音楽の教室は合奏がいいという方と、一人ひとり教えて欲しいという方に分かれます。合奏希望の人は気の小さい人。みんな

で演奏すれば、少々間違ってもわからないと思うでしょう。独奏希望の人は気の強い人、自分を表現したいという気持ちが強い人ですから、この人は上手になります。

……教材は？

どんな楽器の楽譜でもそうなのですが、だいたいプロ用か初心者用しかないのです。その中間の教材が無いので、個人のレベルに合わせて僕がテープを作ります。上手な人はすぐに吹きこなしますから、三ヶ月もすると教材を替えないといけません。

お金をもらって自分たちで遣うと「ハーモニカの音が悪くなるぞ」と言ってます(笑)。

……指導はどのように？

僕は目が見えませんが音を聞いて、相手の口元を想像します。「舌の位置が悪いですよ」とか、僕にはそれがわかるからレッスンできます。プロの曲を聴いて、テクニックを拾い上げていたおかげでしょうね。どう口元を動かせば、どんな音が出るのかわかるようになりましたから。生徒さんには「先生には音がごまかせない。一音、一音、全て聞いている」と言われますよ(笑)。それに生徒さんを持ってから、僕自身も上達してきました。自分がどうやって吹いているのか、それをどう伝えるのか、教える立場になるとそれを考えなくてはいいけませんし、自分自身がきちんと吹けないといけません。

……生徒さんにはどんな風にお話しているのですか？

まずレベルを入門、初級、中級、上級の4段階にわけ、それぞれを三輪車、自転車、オートバイ、乗用車と乗り物に例えています。三輪車では三つの種類のテクニックしか練習しません。1音を吹く、2音を同時に吹く。次は3音です。それだけです。吹いてみると楽しいですよ。このテクニックにぴったりの曲が「とおりゃんせ」です。

……3音も一緒に吹いたら、音が混じりませんか？

ハーモニカは吹くとドミノ。吸うとレファラシと、出るトコが決まっています。吹く音と吸う音を同時に出すことはできませんから大丈夫です。自転車になると伴奏を入れます。舌をハーモニカにぶつけて音を切ることで伴奏ができます。メロディーと一緒に伴奏をする同時ベース。メロディーを先に吹いて、舌をぶつくと後打ちベースになります。オートバイになると免許が必要ですから、運転も難しくなります。それに三輪車や自転車に比べてたくさんの部品が集まっている。ハーモニカも同じです。たくさんのテクニックを組み合わせ曲を演奏します。上級になると新たに教えるテクニックはもう3つしかありません。舌でハーモニカの穴を押さえて、ステレオで鳴らしたり、順番に音を開けていったりします。

……思うように舌を動かすのは大変でしょう？

僕は多少、天才的なところがあって(笑)。できる人は三重県でも5人いるかどうかです。生徒さんに「よくしゃべるのだから、舌もよく動くやろ」と言うと、「縦には動くけど、横には動かん」と言われます。

……卒業というか、これが吹けたら一人前という曲はありますか？

「荒城の月幻想曲」という難しい曲があります。僕は今まで20人の人をこの曲が吹けるようにしてきました。上達して、僕が「よし」と思った時に、「荒城の月幻想曲」専用のハーモニカを差し上げることにしています。プロとして一人前と思える曲は、「荒城の月幻想

曲」より更に難しい「桜のワルツ」でしょうか。「さくらさくら」を元にして、プロのハーモニカ演奏家が編曲して吹いている曲です。その方はもう亡くなりましたが「この曲はハーモニカの曲の中では最高のテクニックが必要だ。これが吹けるようになったら免許証はあげないけれど、一人前だと思え」と、楽譜



1本のハーモニカだけで演奏しているとは思えないほど、豊かな音が溢れています

に書いてあります。ですから、みんな挑戦するわけです。僕もこれでハーモニカ吹きと思っていいんだなと思いました。

……指導はボランティアですか？

教室の発表会や旅行などにお金があるので月1000円会費を集めて、その内の500円を僕の交通費としていただいています。

……演奏活動も行っているのですか？

声を掛けてもらうと張り合いがありますから、断ったことはないです(笑)。小中高校、幼稚園、保育園、老人ホーム、養護施設。それから自治会、老人会、婦人会。ボランティアのたまごの教育の会とか。ボランティアサークルからも呼んでもらいます。それぞれメンバーの様子をみて、曲目は変えて吹いています。例えば、音楽に詳しい方が多い時は懐メロはやめて、クラシック。老人ホームなどはどんな方がいるかわかりませんが、クラシック、懐メロ、演歌、童謡唱歌いろいろ取り混ぜて演奏します。童謡唱歌、演歌などは生徒さんたちもかなり吹けますから、5~10人ほど、一緒に出かけます。

……視覚ハンディのある方が演奏すると驚かれるのでは？

招待して下さった方はハンディがあることを知っていますから、当日のプログラムなどにそのことも掲載されています。生徒さんや施設のスタッフさんが僕の介助をしてくれますから、ボランティア精神を育てることに僕も一役かっているかなと。もし、僕の目が不自由じゃなかったら、周りに集まってくれる人もいないと思います。ガイドヘルパーでもない、シロウトさんが僕の面倒をみってくれるわけですから、「伊藤さんのおかげで、いい勉強させてもらうわ(笑)」と言ってもらえます。それに最近は演奏会の進行役も生徒さんがしてくれるようになったのでラクになりました。以前はプログラムすべてが頭に入りましたが、最近は「次誰かあ、僕か」(笑)。

……演奏に出かける時もボランティアですか？

ほとんどボランティアです。時々、結婚式などで演奏するとご祝儀をいただくこともあります(笑)。そんな時は演奏料でハーモニカなどを購入し、養護施設などに行く時に持っていきようとしています。女性が多い場所にはネックレスに小さなハーモニカがついた物を用意してね。それを希望者にじゃんけんしてもらって、お譲りしています。演奏の時より、この時が一番盛り上がりますね(笑)。もらったモノは還元しないとね。お金をもらって自分たちで遣うと「ハーモニカの音が悪くなるぞ」と言ってます(笑)。

伊藤静生 Tel.059-223-2106

伊藤静生さんはこの人を紹介します。

吉村陽子さん

三重県声のポスト友の会に参加。朗読のボランティアを始めて8年目を迎えました。



演奏会の様子

おねがい

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

100

PRINTED WITH SOY INK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。